

株式会社テクノマセマティカル

平成22年3月期＜第10期＞ 第2四半期決算説明会

■ Algorithm Specialist



平成21年11月16日

ご注意：本資料は実際の説明会で使用された資料の抜粋です。あらかじめご了承ください。

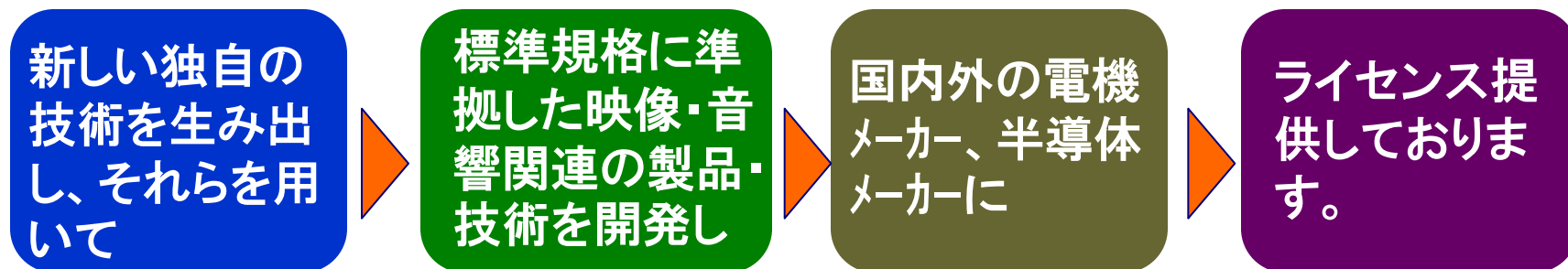
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. Next 2011中期事業計画について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ①高圧縮率、
- ②高画質、
- ③低消費電力、
- ④低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノマセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

ソフトウェアIP

ハードウェアIP

単機能LSI
応用システム事業

1-3 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像／音響製品

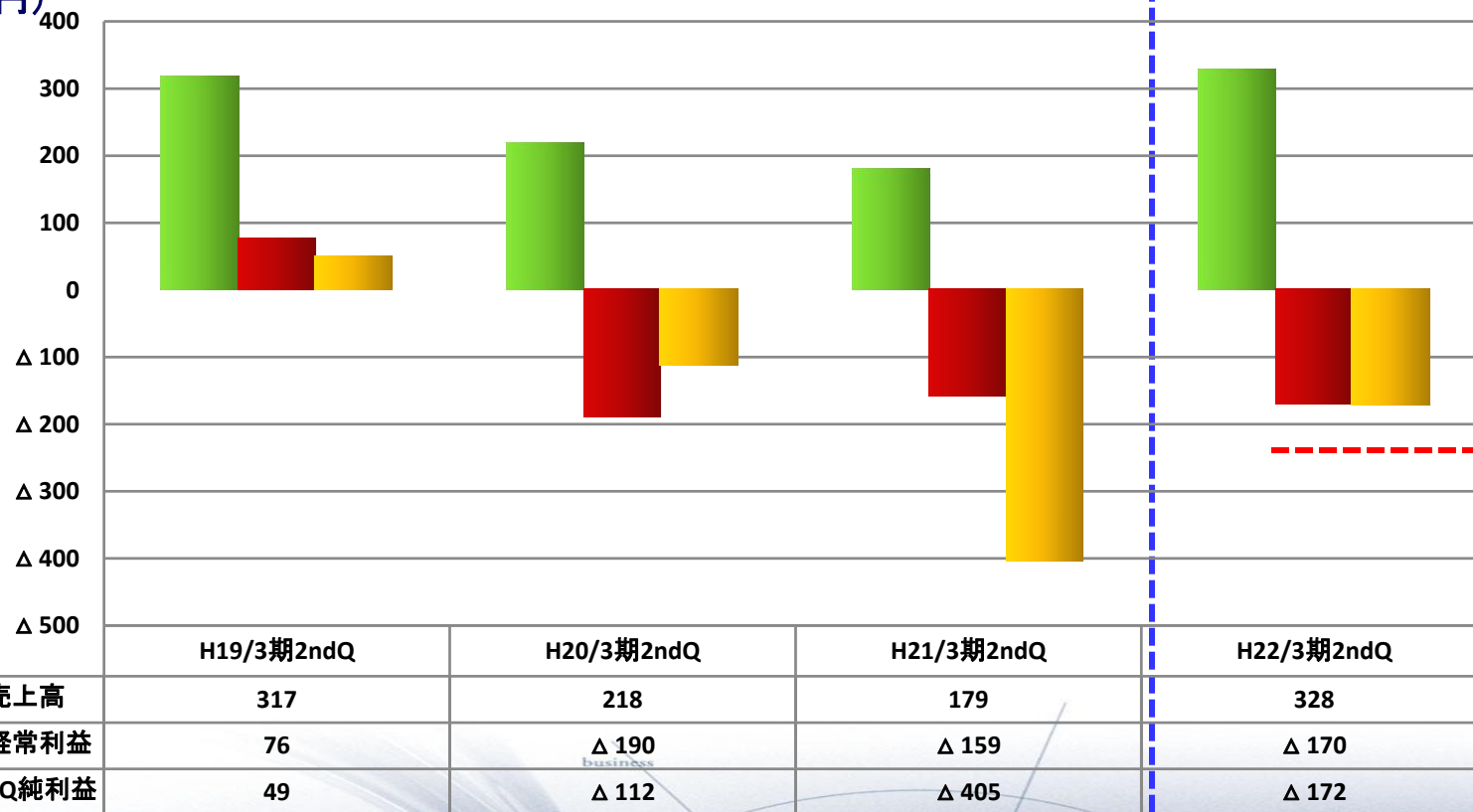
4. 業容拡大による収益力の向上

売上・利益の絶対額増加、事業3本柱の確立

2-1 業績の推移

- ◆ 売上高 前年同期間比 83.1%増加ながら経常損失は前年同期間並みの△170百万円
- ◆ 人員増による諸経費増加をカバーできず
- ◆ ただし、利益ベースは計画値を上回って着地

(百万円)



計画値

2-2 損益計算書（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	当第2四半期（累計） （H22/3期2ndQ）	構成比	対前年同期間 増減比	前年同期間 （H21/3期2ndQ）
売上高	328	100.0%	83.1%	179
売上総利益	245	74.8%	149.1%	98
販売管理費	420	128.0%	57.9%	266
営業利益	△174	△ 53.2%	—	△167
経常利益	△170	△ 51.9%	—	△159
四半期純利益	△172	△52.4%	—	△405

2-3 貸借対照表 (平成21年9月30日)

(単位:百万円)	H21/9末	構成比	対前期末比 増減	H21/3末
流動資産	3,451	94.6%	▲209	3,661
固定資産	198	5.4%	▲11	210
資産合計	3,650	100.0%	▲220	3,871
流動負債	99	2.7%	▲48	147
固定負債	—	—	—	—
純資産	3,551	97.3%	▲172	3,723

2-4 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	H21/3期 第2四半期(累計)	H22/3期 第2四半期(累計)	対前年 同期間比増減	平成21年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	△23	△281	△ 258	△86
投資活動による キャッシュ・フロー	△4	△3,018	△3,014	△93
財務活動による キャッシュ・フロー	—	—	—	12
現金及び現金同等 物の増減額	△27	△3,299	△ 3,272	△167
現金及び現金同等 物の期首残高	3,517	3,350	△167	3,517
現金及び現金同等 物の四半期末残高	3,490	50	△3,440	3,350

2-5 当初業績予想との差異について

(単位:百万円)	期初予想	実績	差異金額	達成率
売上高	350	328	△21	93.8%
経常利益	△219	△170	48	—
四半期純利益	△221	△172	48	—

プラス面

- ◆第2四半期に放送機器向けの大型案件売上を計上
- ◆神戸TC保有技術のエコーキャンセラー、ノイズ・サプレッサーへの引き合い多数（その他音声関係IPでのシナジー効果が今後期待できる）

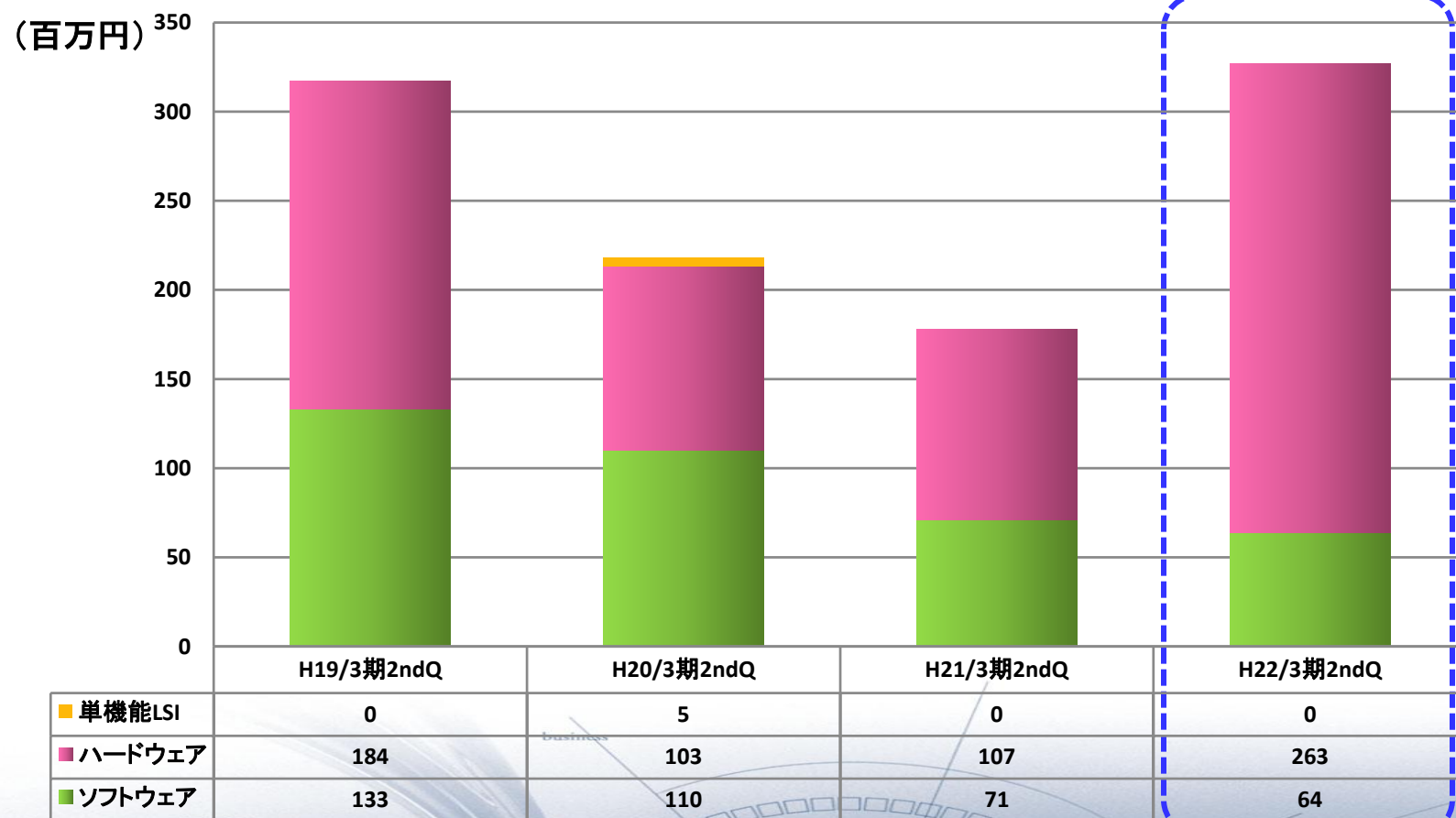
マイナス面

- ◆オリジナルコーデックのDMNA-V2の拡販進まず（ただし、日テレとの共同開発の「低遅延送り返しシステム」には採用された）
- ◆神戸TCでの受託案件なく、予想比大幅改善ならず

3-1 売上の内訳(事業区分別)

◆ソフトウェアは前年同期間比1割減・・・案件数はそこそこ、小規模案件多い

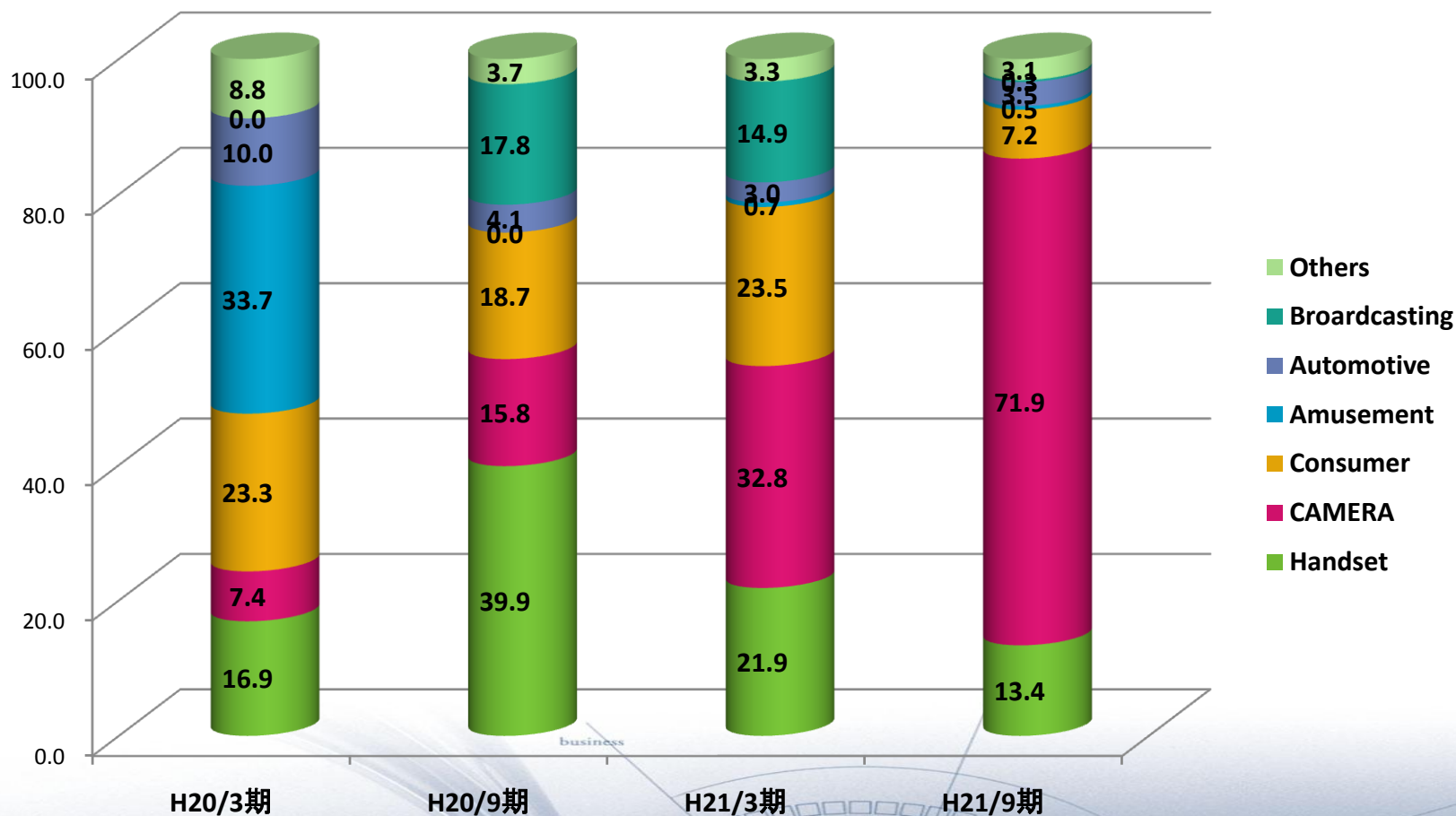
◆ハードウェアは前年同期間比倍増・・・放送機器向け大型案件、ランニング・ロイヤリティも下支え



3-2 売上の内訳(対象市場別)

◆CAMERAの構成比が増大(大型案件獲得効果)

◆Consumer関係の割合が大きく低下(フォト・フレーム効果の一巡)



4-1 通期業績見通し

(単位:百万円)

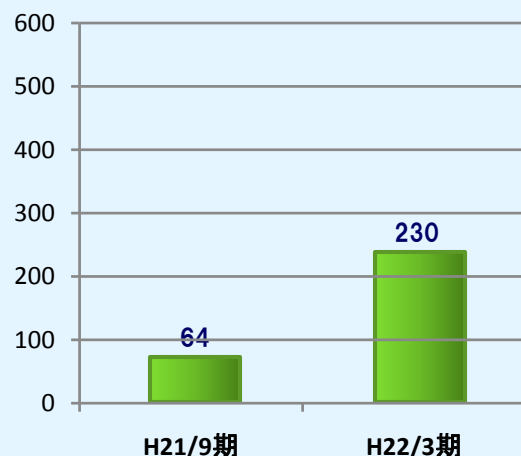
	当期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	810	+257	+46.7%	552
経常利益	△226	+35	—	△261
当期純利益	△230	281	—	△511

- ◆ ソフトウェアライセンス＝H.264、エコーキャンセラーなどを見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝H.264HDなどを見込む
- ◆ 応用システム開発＝配信システム関連の案件獲得見込む
- ◆ 単機能LSI＝超解像スケーラLSIの販売に注力

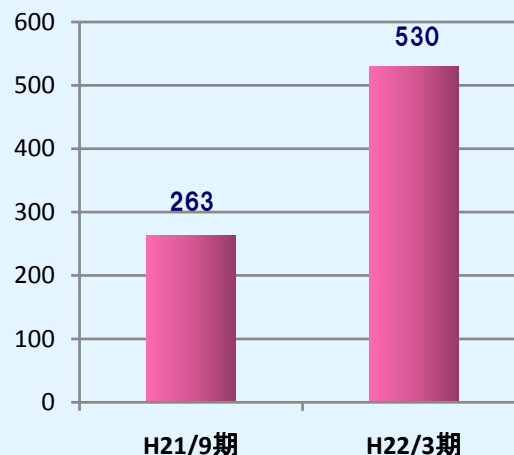
4-2 主な増減要因

＜売上高＞（単位：百万円、H22/3期は計画値）

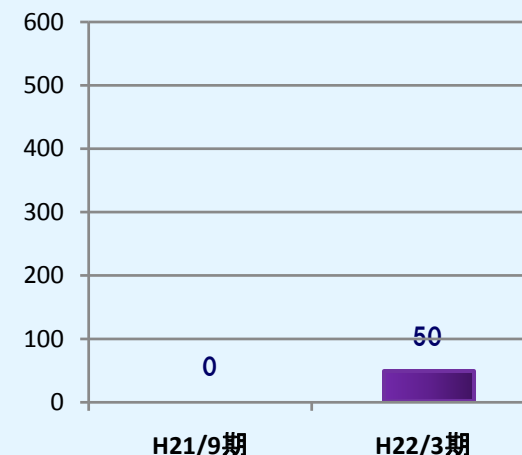
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



単機能LSI事業



- ・ **ワンセグ**関連で底堅い需要を見込む（EMMA2TS向けに注力）
- ・ **ゲーム**関連、**ネットワーク**関連もターゲットに

- ・ **HD対応**のニーズが黎明期から徐々に実需へと移行してきている
- ・ **デジカメ**などを中心に販売に注力

- ・ ターゲット顧客の絞り込みで**超解像スケーラLSI**の顧客獲得を目指す

4-3 平成22年3月期下期トピックス(1)

1. NECエレクトロニクス社製EMMA2TSのワンセグ機能向けにH.264とFRCを提供

- ① EMMA2TS ⇒ 簡易地デジ・チューナー向け統合LSI
- ② ワンセグ機能追加用に当社製H.264 DecとFRCを推奨
- ③ 今期の売上寄与は大きいものの、来期以降のロイヤルティ収入の積み上げを狙う

《EMMA2TS向けワンセグ・ソリューション》

- EMMA2TSのCPUにてH.264 をSWデコードにより実現します。またFRC技術により30fpsを実現します。
 - ー 搭載ソフトウェア
 - 当社製高品質・高画質・LowPowerを実現したH.264 Dec SW
 - 当社の独自技術による高性能FRC
 - ー EMMAドライバ用の専用APIを実装
 - フルセグ同様にアプリ開発が可能
- スペック
 - ー H.264 BP Decoder SW
 - Baseline Profile 準拠
 - サイズ: 320×240、320×192
 - フレームレート: 15fpsに対応(ワンセグ規格)
 - ー FRC(フレーム補間): 15fps -> 30fps

4-3-1 平成22年3月期下期トピックス(2)

2. ARM社製Cortex-A9MP上でのH.264の動作最適化

- ① 従来ハードウェアでしか処理できなかった大画面の領域も、DMNAをベースに開発した当社のH.264を用いれば、ソフトウェアで対応可能に。
- ② NEONとMPCOREに最適化を行い、パフォーマンスを向上。
- ③ 大画面対応のための目標仕様達成のため、さらなる最適化を進める。
- ④ 今後Cortex-A9の本格普及に伴い、当社製H.264の採用件数増加を期待。
- ⑤ Cortex-A9
⇒ 複雑なOSおよびユーザ・アプリケーション向けのアプリケーション・プロセッサの最新版。

Techno Mathematical Co., Ltd. DMNAを用いたオリジナルの画像圧縮伸長技術

ARMベースシステムのビデオソリューション

DMNAとARM Cortex-A9/NEON&MPCOREとの組合せで大画面対応が可能に

Algorithm Specialist

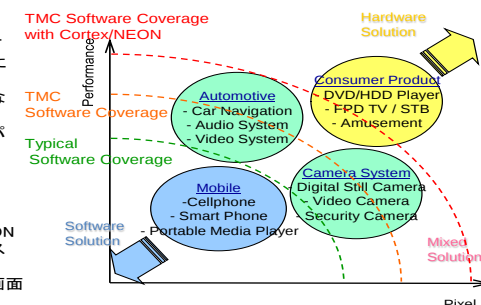
TMC

1 概要

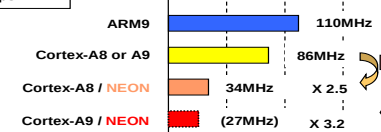
DMNAにより、高画質で高速演算処理が可能です。アーム社Cortex-A9/NEON、さらにはMPCOREテクノロジーとのコラボレーションにより、従来ハードウェアでしか処理できなかった大画面の領域も、対応可能になりました。NEONとMPCOREに最適化を行い、パフォーマンスを向上しました。(当社比2倍)

2 性能評価

H.264デコーダのCortex-A9コアおよびNEON上での性能を測定しました。また、マルチスレッド対応のH.264エンコーダのCortex-A9/NEON上での性能を測定しました。大画面対応するため、最適化の検討しています。

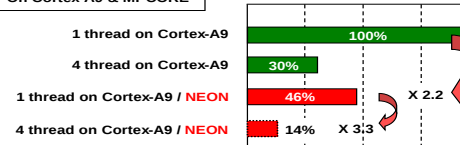


H.264 BP Decoder QVGA/15fps CPU Load (MHz)



Test Conditions:
- Simulator: RVDS4.0
- Decoder: TMC H.264 Baseline Profile
- Sample Data: Foreman QVGA
- Measurement: Convert time to decode 300frames

H.264 BP Encoder On Cortex-A9 & MPCORE CPU Load (%)



Test Conditions:
- Evaluation Board: KZM-CA9-01
- Encoder: TMC H.264 Baseline Profile
- Sample Data: Foreman VGA
- Measurement: Convert time to encode 300frames

Techno Mathematical Co., Ltd.

株式会社 テクノ マセマティカル

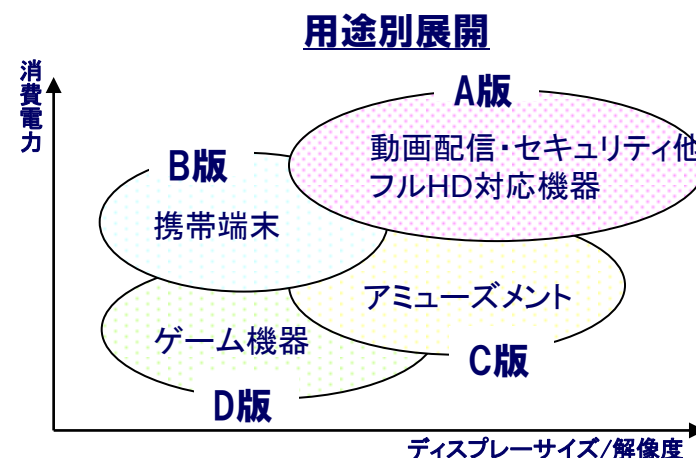
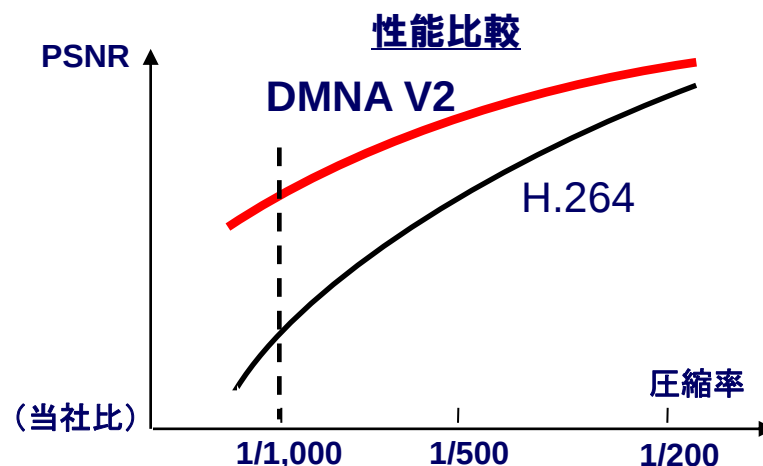
TEL: 03(5798)3636 Email: info-sales@tmath.co.jp URL: http://www.tmath.co.jp/

4-3-2 平成22年3月期下期トピックス(3)

3. オリジナル・コーデック DMNA-V2の拡販

①DMNA-V2の特徴

- ・H.264と比べ圧縮率が高く、低ビットレートでの画質劣化が極めて低い。
- ・用途別に4種類を展開。
- ・ソフトウェア版(エンコーダ、デコーダ)のみならず、ハードウェア版(デコーダ)でも対応。



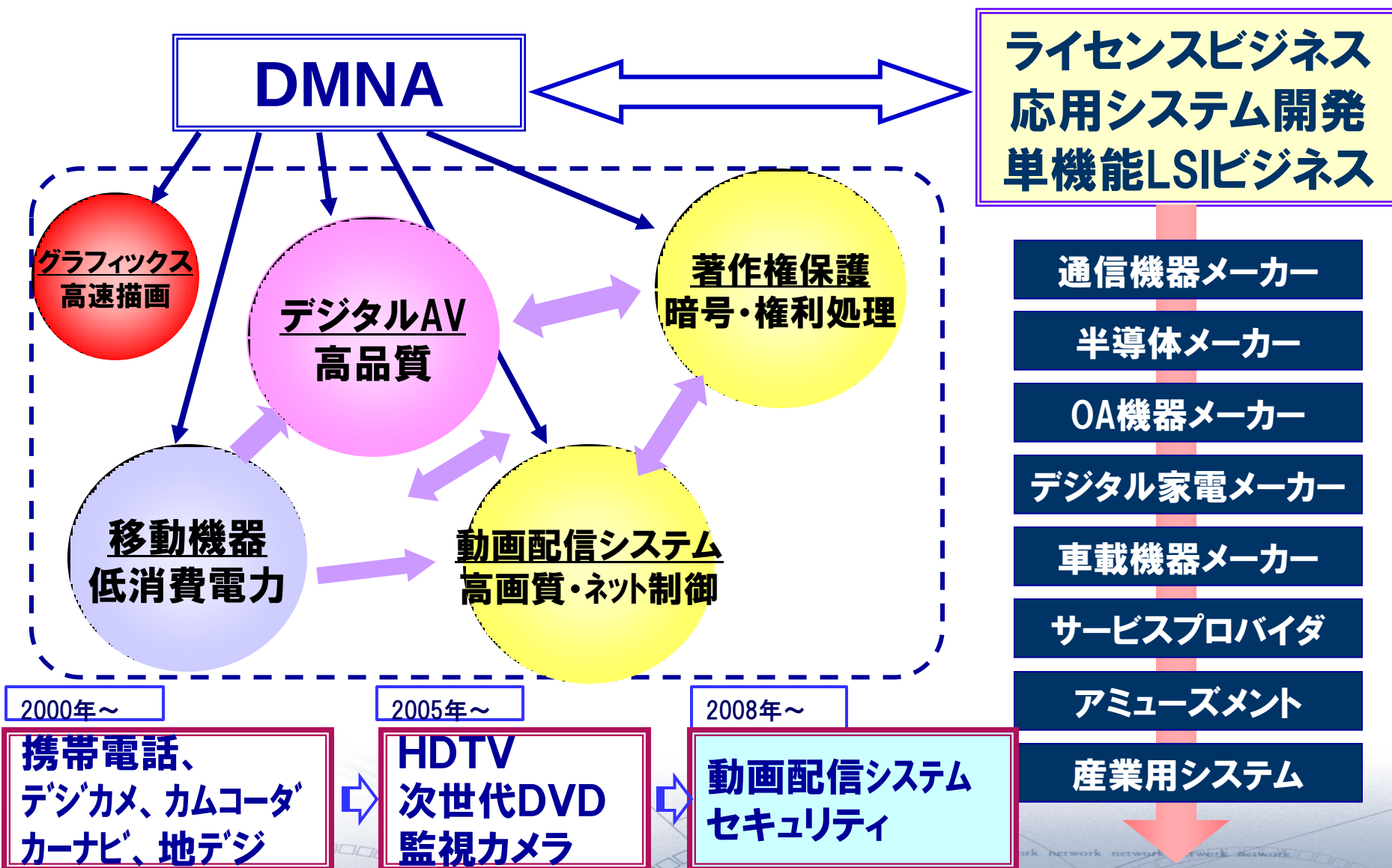
②拡販ポイント

- ・用途別にシリーズを展開し、あらゆる顧客のニーズに応える(高圧縮率、高画質が求められる分野が狙い)

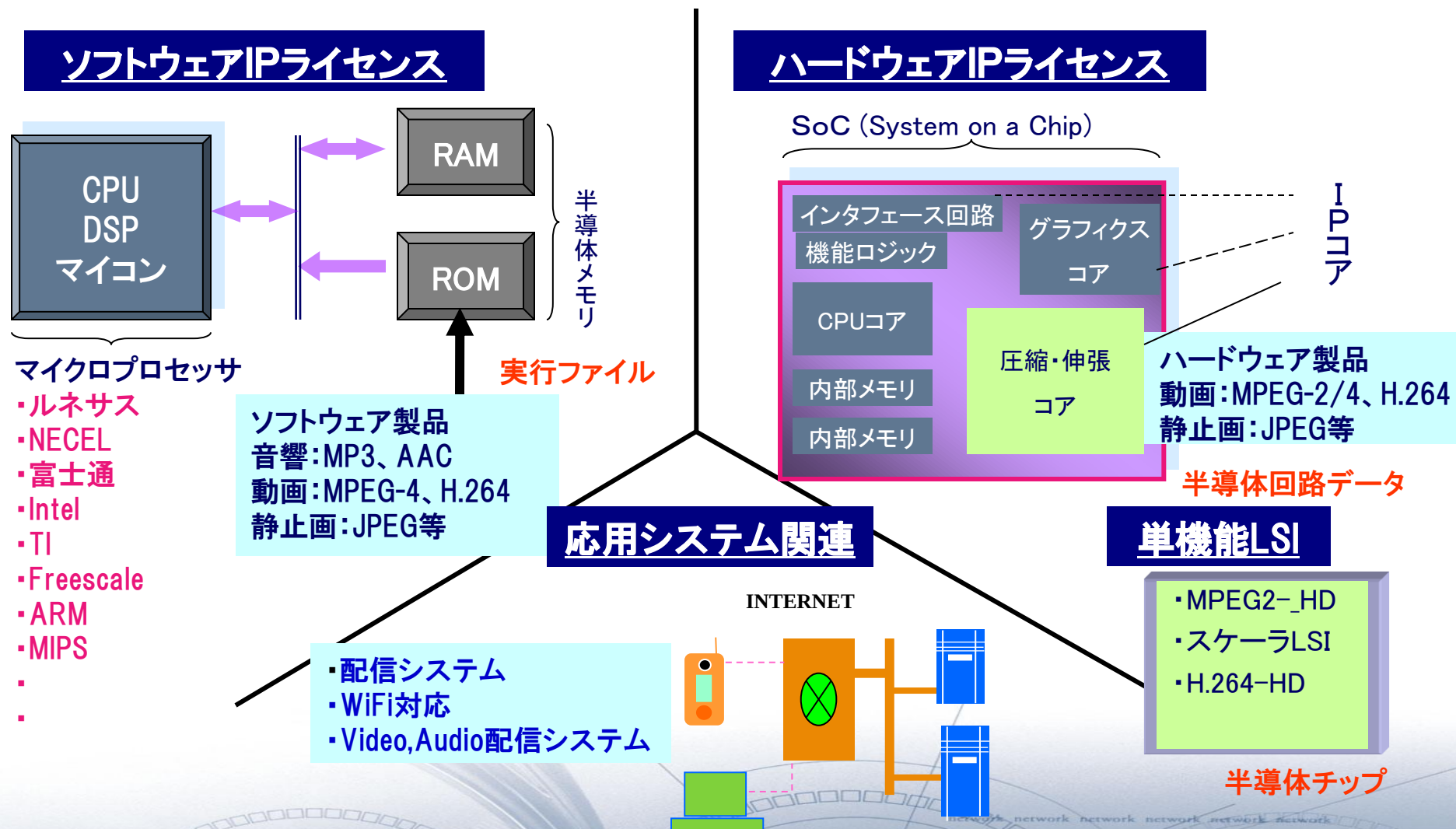
③高性能オリジナル・コーデックの意味するもの

- ・用途、分野で使い勝手を向上させることができる

5-1 ビジネス展開



5-2 製品形態



5-3 Next 2011

平成21年3月期



平成22年3月期



平成23年3月期

今期は中期3ヶ年計画の2年目

◎既存のハードウェア、ソフトウェアの両分野に加え、これらをシステムとして総合的に応用したデジタル関連分野ソリューションに本格展開していく。

◎単機能LSIは、超解像スケーラLSIを投入、さらなる新商品開発を進める。

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-5798-3636 E-mail:ir@tmath.co.jp